

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	臨床医学総論(外科系)(General Clinical Medicine (Surgery))		
ナンバリングコード	S30440	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 応用レベル / 臨床医工学
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	コース必修:臨床医工学コース 選択:診療放射線学コース、臨床検査学コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S014251	クラス名	-
担当教員名	相川 久幸		
履修上の注意、 履修条件	臨床医工学コース学生は必ず履修すること		
教科書	標準外科学第15版(北野正剛、医学書院)		
参考文献及び指定図書	体表からわかる人体解剖学(南江堂南江堂)		
関連科目	生理学 解剖学 生化学 内科学		

○基本情報		
授業の目的	本科目では、外科学の概要について理解し、実際の臨床現場で生命維持管理装置を中心とした医療機器の操作および保守管理を行い、チーム医療の中で高度先進利用を実践するために必要となる外科疾患、治療法、侵襲、合併症 に関する基本的知識を修得する。さらに、外科手術を術前、術中、術後の周術期管理の観点から学び、その際に必要な医療機器管理方法や患者モニタリング方法を身に付ける。	
授業の概要	具体的な教科内容には、外科学概論(外科学の歴史、外科手術概論、創傷治癒、消毒・滅菌、患者管理)呼吸器系(感染症、新生物、喘息、呼吸不全、新生児呼吸不全、慢性呼吸不全、急性呼吸促迫症候群、肺の手術)循環器系(血管病学、血圧異常、閉塞性疾患、大動脈、心臓病学、先天性心疾患、弁膜症、虚血性心疾患、不整脈、体外循環、ペースメーカー)消化器系の疾患(胃 小腸、大腸、肝胆道、膵臓、食道)血液系(赤血球、白血球、輸血)の内容を含む。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3)アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】				
【ディプロマ・ポリシー2】	幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。	100点		
【ディプロマ・ポリシー3】				
【ディプロマ・ポリシー4】				
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法) 期末テストの100点満点の60点以上を合格とする。課題のフィードバックは次回以降の講義中に行う。				

○その他
尚、本講義科目の実時間は1コマ120分とする。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	臨床医学総論(外科系)(General Clinical Medicine (Surgery))	授業コード	S014251
学修内容				
1. オリエンテーション・外科学概論(外科学の歴史・外科手術概論)				
予習	教科書(第1章:外科の歴史と外科医の医療への貢献、第6章:手術用器械と基本手技)を熟読すること。	(約2.0h)		
復習	講義内容について纏め、インフォームドコンセントとは何か説明できるようにすること。また、各自で縫合基本	(約2.0h)		
2. 外科学概論(創傷治癒)				
予習	教科書(総論第10章:損傷、総論第2章:外科信州の病態生理)を熟読すること	(約2.0h)		
復習	外科侵襲の病態生理についてチャート図で理解しながら纏め、創傷治癒過程についても纏めること。	(約2.0h)		
3. 外科学概論(消毒・滅菌)				
予習	教科書(総論第5章)の無菌法に関する内容について熟読すること。	(約2.0h)		
復習	消毒と滅菌の違いを明確にしながら纏め、ガウンテクニックについても各自反復練習すること。	(約2.0h)		
4. 外科学概論(患者管理)				
予習	教科書(総論第22章:術前術後管理と術後合併症)の患者管理に関する内容について熟読すること。	(約2.0h)		
復習	周術期管理における患者管理と術後合併症の要点について纏めること。	(約2.0h)		
5. 呼吸器系の外科(感染症、新生物、喘息、呼吸不全、新生児呼吸不全、慢性呼吸不全)				
予習	教科書(各論第3章:胸壁および胸膜、各論第4章:気管・気管支および肺)の呼吸器系の外科に関する内容に	(約2.0h)		
復習	呼吸器系の外科疾患と手術術式・治療方針について講義内容について纏めること。	(約2.0h)		
6. 呼吸器系の外科(ARDS、ECMO、肺の手術)				
予習	教科書(総論第20章:人工臓器、総論第19章:臓器移植)の体外循環(ECMO含む)と胚移植に関する内容に	(約2.0h)		
復習	ARDSとECMOの概要について理解しながら、内視鏡によるVATS手術について纏めること。また体外循環	(約2.0h)		
7. 循環器系の外科(血管病学、血圧異常、閉塞性疾患、大動脈瘤)				
予習	教科書(各論第6章:血管)の血管系病変に関する内容について熟読すること。	(約2.0h)		
復習	血管病変および大動脈瘤に関する疾患と手術術師機・治療方針について講義内容について纏めること	(約2.0h)		
8. 循環器系の外科(心臓病学・先天性心疾患)				
予習	教科書(各論第5章:心臓)の心臓病および教科書(総論第20章:人工臓器)に関する内容について熟読するこ	(約2.0h)		
復習	心臓病に関する外科疾患と手術術式・治療方針について纏めるとともに、体外循環による循環制御の内容に	(約2.0h)		

○授業計画		科目名 担当教員	臨床医学総論(外科系)(General Clinical Medicine (Surgery))	授業コード	S014251
学修内容					
9. 循環器系の外科(弁膜症、虚血性心疾患、不整脈、体外循環、ペースメーカー)					
予習	教科書(各論第5章:心臓)の心臓病および教科書(総論第20章:人工臓器)に関する内容について熟読すること				(約2.0h)
復習	心臓病に関する外科疾患と手術術式・治療方針について纏めるとともに、体外循環による循環制御の内容をおさえること				(約2.0h)
10. 消化器系の外科(胃、小腸、大腸)					
予習	教科書(各論第11章:胃および十二指腸)(各論第12章:小腸および結腸)(各論第13章:直腸および肛門管)				(約2.0h)
復習	消化器系疾患に対する外科疾患と手術術式・治療方針について纏めるとともに、内視鏡検査・手術による低侵襲手術について学ぶこと				(約2.0h)
11. 消化器系の外科(肝胆道、膵臓、食道)					
予習	教科書(各論第14章:肝臓)(各論第15章:胆嚢および肝外胆道系)(各論第16章:膵臓)(各論第17章:脾臓および門脈系)				(約2.0h)
復習	消化器系疾患に対する外科疾患と手術術式・治療方針について纏めるとともに、内視鏡検査・手術による低侵襲手術について学ぶこと				(約2.0h)
12. 血液系の外科(赤血球・白血球・輸血)					
予習	教科書(総論第9章:出血・止血・輸血)(総論第2章外科侵襲の病態生理)(総論:第15章:外科と免疫)の血液に関する基礎知識を復習すること				(約2.0h)
復習	外科侵襲の病態生理を復習しながら、出血・止血・輸血等の血液関連の疾患および治療法について纏めること				(約2.0h)
13. 周術期の患者管理					
予習	教科書(総論第22章:術前術後管理と術後管理)教科書(総論第20章:人工臓器)教科書(総論第23章:外科と周術期管理)				(約2.0h)
復習	周術期の患者管理について、人工臓器治療および外科手術のリスクマネジメントとともに照らし合わせながら学ぶこと				(約2.0h)
14. 周術期モニタリング					
予習	教科書(総論第22章:術前術後管理と術後管理)教科書(総論第20章:人工臓器)教科書(総論第23章:外科と周術期管理)				(約2.0h)
復習	周術期モニタリングについて、患者管理とリスクマネジメントの観点から纏めること。				(約2.0h)
15. まとめ					
予習	臨床医学総論(外科学)の講義で学修した内容について纏め、質問事項があれば事前確認しておくこと。				(約2.0h)
復習	臨床医学総論(外科学)で履修した内容について纏める。				(約2.0h)
16. 期末試験					
予習					
復習					